

石川民医連と医師をめざすすべてのみなさんをつなぐ

みまっし通信 65 SPRING

ノーベル平和賞

日本被団協 オスロ受賞式

2024年12月10日 授賞式に合わせてオスロを訪問した  
西本 多美子さん (元 石川県原爆被災者友の会 会長)

授賞式行動ツアー (被ばく者12人が参加) の様子を語っていただきました

西本さんについて  
みまっし64号  
掲載

### ノルウェー国会議事堂で証言



被ばく者の経験を証言している西本さん

### 活動を共にした仲間と



特別展示「人類へのメッセージ」被ばく者26人の写真が展示

被ばく経験の証言後、国会議員と懇談し、ノルウェーの議員から「今の戦争はどうやったらなくせるか」と質問された西本さん。「難しい問いだけど、自分たちの活動は子どもたちなどに語り知ってもらうこと、コツコツ草の根運動を大事にしてきた結果だと思っている」と答えられたそうです。

ほかにも、被ばく者は何十年後にもいろんな病気が見つかり、そのたびに苦しんでいる。被害は一度ではなくずっと続いている。戦争も同じ。一度でも起こしていけない、と力強く語っていました。

西本さんはこれまで、石川県原爆被災者友の会 (日本被団協の構成団体・現在は閉会) で日本被団協とも一緒に活動しています。オスロ・ノーベル平和センターでは被団協の活動の歴史や原爆の写真、証言などが展示されました。活動をともにした仲間の写真のパネルもあり、これまでの想いが溢れ涙したそうです。

国内外での講演や署名活動を通じて核廃絶を訴えてきた西本さん。石川県内の被ばく者の方のための申請手続きにも奔走。申請はとても複雑で認定も難しく諦めようとした方もいらっしやった中、これまで多くの被ばく者のみなさんに寄り添い活動を行ってきました。

### 医師を目指すみなさんへ



西本 多美子 さん

西本さんから医師をめざすみなさんにメッセージをいただきました。「命を守る医療従事者として、平和について考えてほしい」2025年は戦後80年。核のない世界、戦争のない世界、被ばく者の想いは平和しか知らない私たちへの宿題です。

この動画はYou Tubeで限定公開しています。右の二次元コードからご覧いただけます。

動画  
こちらから



みまっし64号  
こちらから



@ISKW\_MIN\_STU

石川県民主医療機関連合会 金沢市京町24-14 TEL 076-253-1458 2025年2月発行

「みまっし通信」の「みまっし」とは金沢弁で「見てみたらいいよ」という意味で勤める言葉として使われています。「来まっし」「入りまっし」など「～まっし」といろいろな場面で使われています。